

現状の整理と、今後の進め方（案）

プロジェクト会議で取り組むこと	
現状	<p>【仮説設定、裏付け期】</p> <p>コンテンツ</p> <p>○第一弾調査（ニーズ調査）※10/31速報・公表。年内で確定。</p> <p>①プロジェクト会議の方向性の確からしさの確認 →地域全体のニーズと概ね合っていることが確認された プロジェクト会議を進める際は、ニーズ調査の結果に留意しながら進める</p> <p>②WGの解決メニューの優先順位付け →「患者・利用者情報の取得のための何らかのツール」や「各機関の入退院時の窓口やルール等の一覧」、 「患者・利用者説明用の共通パンフレット」のニーズが高かった</p> <p>協力者開拓</p> <p>○医療・介護団体 ・各区医師会（会長ほか個別説明） ・各区薬剤師会（市薬剤師会理事会説明）</p> <p>○病院 ・公的医療機関12病院 （院長・看護部長・事務長に個別説明）</p> <p>○研修会等 ・のべ約1500人に対して周知</p> <p>報告事項</p>
年内	<p>【調整期】</p> <p>○市内で取り組むべきルール・ツール、取組の候補設定 →「患者・利用者情報の取得のための何らかのツール」や「各機関の入退院時の窓口やルール等の一覧」 「患者・利用者説明用の共通パンフレット」を候補とする</p> <p>○第二弾調査（現状調査） →「患者・利用者情報の取得のための何らかのツール」や「各機関の入退院時の窓口やルール等の一覧」の作成のため、 どんなツールであれば役立つのか、実務に組込めるのかを調査する ※ 作業部会で行う ※ 「患者・利用者説明用の共通パンフレット」は次年度課題とする</p> <p>○普及・徹底の方策① →医療・介護関係団体、地域の研修への組み込みを検討する ※ 第3回プロジェクト会議で行う</p> <p>○第一弾調査（ニーズ調査）結果等の周知 →各職種への周知方法については、事務局がプロジェクト会議の構成員と個別に相談して進める。</p> <p>協議事項 2</p> <p>協議事項 3</p>
年度内	<p>【具体化期】</p> <p>○市内で取り組むべきルール・ツール、取組の策定・合意</p> <p>○普及・徹底の方策②</p>
H31以降	<p>【モデル実施期】</p> <p>○市内でモデル実施、効果の検証</p>